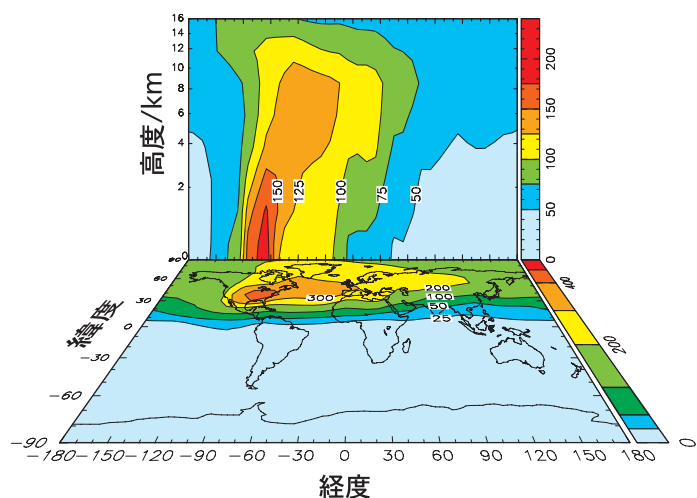
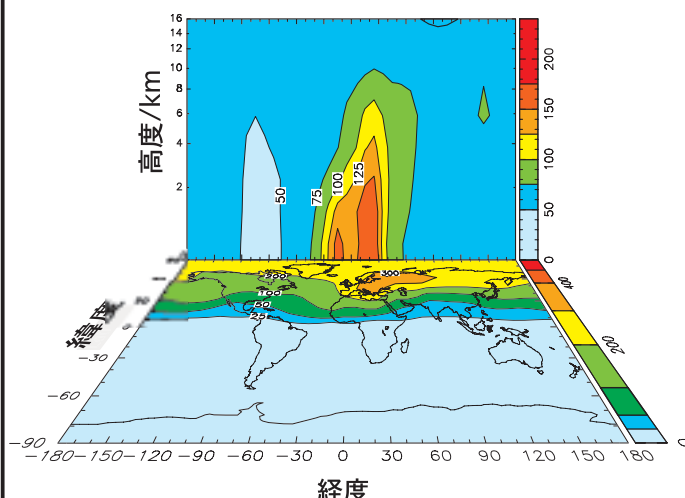


# 図1 対流圏オゾンの増加の計算シミュレーション

米国における排出量を10%増加させた場合

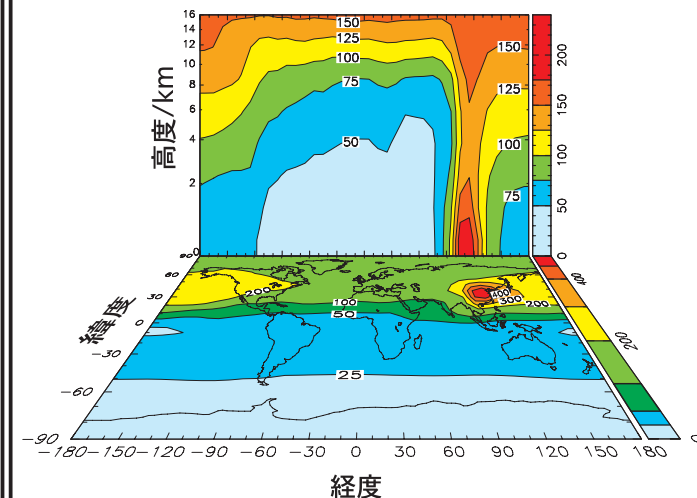


ヨーロッパにおける排出量を10%増加させた場合



ヨーロッパ起源のオゾン、東アジアまで低空輸送されることがわかった。

東アジアにおける排出量を10%増加させた場合



東アジア起源のオゾンは、対流圏上部に達し、偏西風により北米、ヨーロッパまで輸送されることがわかった。

人為起源NO<sub>x</sub>の排出量が特に多い地域（東アジア、アメリカ、ヨーロッパ）からのオゾン前駆体ガス（NO<sub>x</sub>, CO, NMHC）の排出量がそれぞれ10%増加したと仮定してオゾン生成の増加量を計算した。その結果、オゾンが大陸間輸送されることが明らかになった。

人為起源NO<sub>x</sub>の年間排出量分布（4° X 5°）（単位 kgN/yr）

